

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	健康・医療分野におけるムーンショット型研究開発等事業			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者			
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	日本医療研究開発機構担当室	参事官	神田 忠雄	参事官	笠松 淳也
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第27条の2 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法第17条の2第2項 			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) 健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定) 医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定) ムーンショット型研究開発制度の基本的考え方について(令和2年2月27日健康・医療戦略推進本部決定) 				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	目指すべき未来像を展望し困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題に対して健康・医療分野においても貢献すべく野心的な目標に基づくムーンショット型の研究開発を推進すること等を目的とする。2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステナブルな医療・介護システムを実現する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構に基金を造成し、健康・医療戦略推進本部で定めるムーンショット目標の実現のため、総合科学技術・イノベーション会議で定める目標とも連携しつつ、内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省が一体となって、研究開発を推進する。また、産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等もあわせて実施する。								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		補正予算	10,000	-	5,000	8,000			
		令和4年度第2次補正予算	-	-	-	8,000			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	10,000	0	5,000	8,000			
	執行額	10,000	-	5,000	-				
	執行率(%)	100%	-	100%	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	#DIV/0!	100%	-				
令和4年度第2次補正予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度第2次補正予算	主な増減理由						
	革新的研究開発推進基金補助金	8,000							
	計	8,000							
活動内容(アクティビティ)	大学等の行う、我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指した、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を通じて支援する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	ムーンショット目標の実現	ムーンショット目標に基づき実施している研究開発課題数	活動実績	件	-	-	5	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	実施課題に対する年度配分額(X)÷課題数(Y) ※ムーンショット目標分		単位当たりコスト	百万円	-	-	390.5	246.2	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標5年度	目標最終年度8年度	
		運用・評価指針に基づく評価等により、優れた進捗が認められるプロジェクト数	成果実績	件	-	-	5	-	
			目標値	件	-	-	5	-	
		達成度	%	-	-	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)									

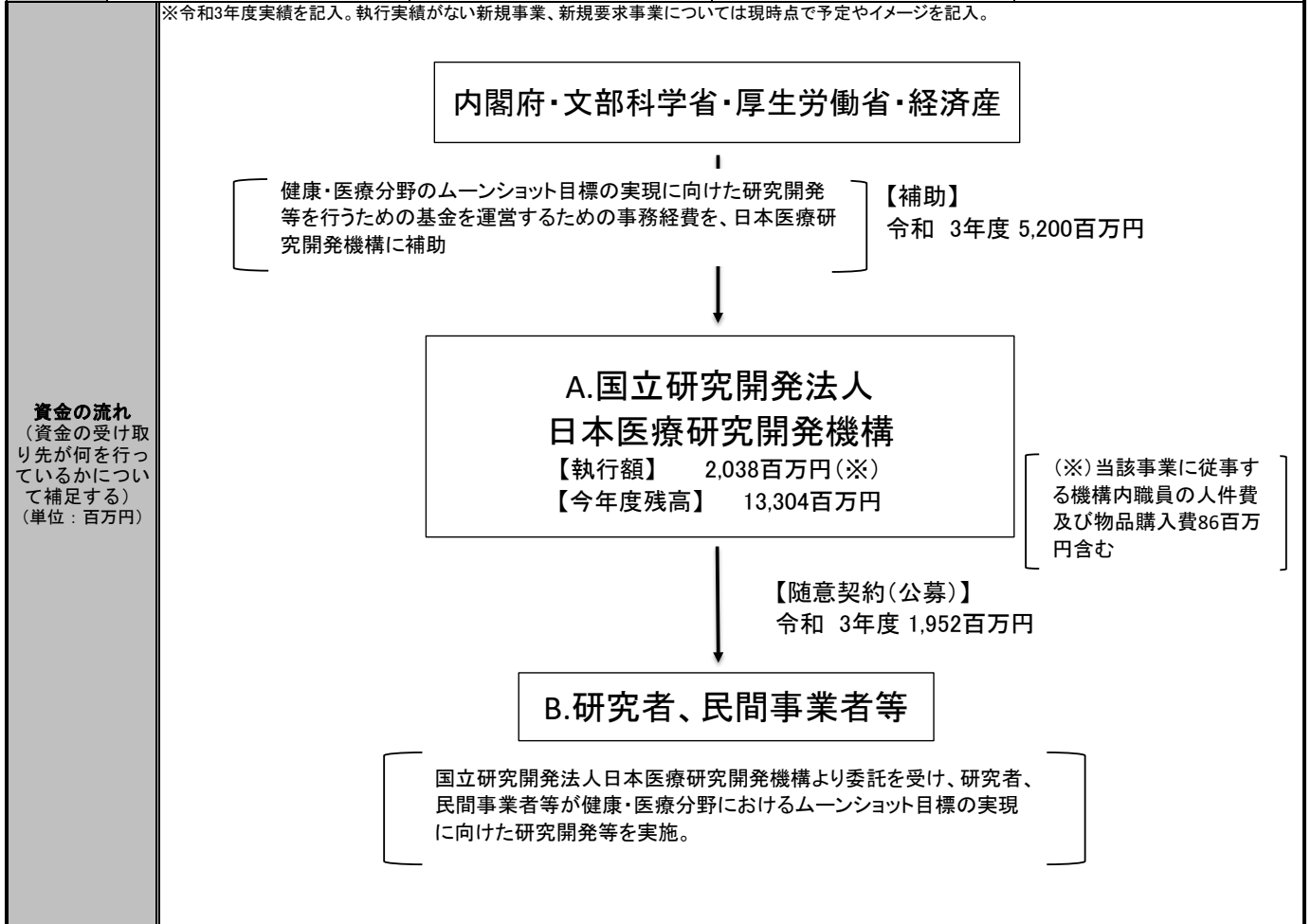
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績							
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	ムーンショット目標の実現に向けた研究開発ターゲットを関係府省において定めているが、単なる性能向上のような定量的に測れる研究開発ではなく、定量的な指標では測れない新たな価値を生み出すことを目標としているため、目標は定性的にならざるを得ないところ。なお、成果指標は定量指標を設定している。		2040年までに、免疫システムや睡眠の制御等により健康を維持し疾患の発症・重症化を予防するための技術や、日常生活の場面で個人の心身の状態を可視化・予測し、各人に最適な健康維持の行動を自発的に促す技術を開発することで、心身共に健康を維持できる社会基盤を構築すること等を目標とし、令和3年度より研究開発を開始した。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 8年度	
	ムーンショット目標の実現に向け、関係府省と連携して、健康・医療分野における挑戦的な研究開発の推進	運用・評価指針に基づく評価等により、優れた進捗が認められるプロジェクト数	実績	件	-	-	5	-	-	
			目標値	件	-	-	5	-	-	
			達成度	%	-	-	100	-	-	
活動内容（アクティビティ）	国費と企業原資の研究費を組み合わせることにより、産学官共同による医療上の必要性が高く特に緊要となった医薬品・医療機器等の研究開発を推進する。									
活動目標及び活動実績（アウトプット）	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発の推進	産学官共同による研究開発等の採択課題数 ※現在、産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等の第1回目公募の審査段階のため活動見込は「-」	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	実施課題に対する年度配分額(X)／課題数(Y) ※産学共同研究分			単位当たりコスト	-	-	-	-		
				計算式	(X)/(Y)	-	-	-		
成果目標及び成果実績（アウトカム）	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等を推進する。 ※現在、産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等の第1回目公募の審査段階のため成果見込は「-」	成果目標が達成されたと評価された件数。	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名（出典）										
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	19. 科学技術・イノベーション政策								
	施策	25. 科学技術・イノベーション基本計画の策定・推進			政策評価書 URL	-				
					該当箇所	-				
	取組事項	分野:	歳出改革等に向けた取組の加速・拡大	112ページ						
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_211223_2.pdf						
	該当箇所		多年度にわたる基金事業のPDCA強化							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	困難だが大きなインパクトが期待される健康・医療分野の社会課題に対して、野心的な目標を掲げて研究開発等を推進するものであり、国民や社会のニーズを反映している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	非連続的・破壊的なイノベーションを創出するため、失敗も許容した大胆な挑戦が可能となるよう支援する本事業は、地方自治体、民間等に委ねることは困難であり、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「統合イノベーション戦略2021」や「健康・医療戦略」等にも、ムーンショット型の研究開発制度等を推進する旨明記されており、政策目的の達成に必要なかつ政策体系の中で優先度も高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	健康・医療分野におけるムーンショット目標の実現等を目指し、研究開発課題を広く公募した上で、国立研究開発法人日本医療研究開発機構において作成した公募要領に基づき、競争性・支出先の妥当性を確保しながら選定されたPMIにより研究開発が進められている。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	執行機関の国立研究開発法人日本医療研究開発機構では、事業の公募を行う際、公募要領に則り、研究経費等の妥当性を確認するなど、事業の効率的な実施に努めている。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	執行機関の国立研究開発法人日本医療研究開発機構では、事業の公募を行う際、公募要領に則り、研究経費等の妥当性を確認するなど、事業の効率的な実施に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	執行機関の国立研究開発法人日本医療研究開発機構では、合理的な支出になるよう取り組んでいる。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実績報告等において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	執行機関の国立研究開発法人日本医療研究開発機構において、外部の専門家・有識者を活用するなど厳格な評価を行い、評価結果をその後の事業改善にフィードバックするなど、効率化等が図られるようPDCAサイクルを徹底することとしている。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	執行機関の国立研究開発法人日本医療研究開発機構では、公募など、競争的な方法で支出先を選定している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込み通りの活動実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	文部科学省は、国立研究開発法人科学技術振興機構を通じて共通基盤的な研究開発や萌芽的・探索的な研究開発を、経済産業省は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構を通じて所掌する分野における挑戦的な研究開発を、農林水産省は生物系特定産業技術研究支援センターを通じて農林水産分野の産業創造や社会変革を実現する研究成果の創出を行い、内閣府は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を通じて健康・医療分野における研究開発を行う。		
	事業番号			事業名	
	2022	文科		21 0240	ムーンショット型研究開発プログラム
	2022	経産		21 0019	ムーンショット型研究開発事業
	2022	農水		21 0220	ムーンショット型農林水産研究開発事業
備考					

関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度	内閣府	0182		
令和3年度	2021	府 20	0186	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で表情が分かるように記載)	A.国立研究開発法人日本医療研究開発機構			B.研究者、民間事業者等		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助		健康・医療分野におけるムーンショット型研究開発等事業を実施するために必要な基金を造成するための費用	5,200	委託費	健康・医療分野におけるムーンショット目標の実現に向けた開発等を実施するため、国立大学法人東北大学、国立大学法人東京大学、国立大学法人北海道大学、国立大学法人筑波大学へ研究開発を委託するための経費	1,952.5
計			5,200	計		1,952.5

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構	9010005023796	健康・医療分野における ムーンショット型研究開発 等事業の実施	5,200	補助金等交付	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東北 大学	7370005002147	健康・医療分野における ムーンショット型研究開発 等事業の実施	676.9	随意契約 (公募)	-	--	
2	国立大学法人東京 大学	5010005007398	健康・医療分野における ムーンショット型研究開発 等事業の実施	522.7	随意契約 (公募)	-	--	
3	国立大学法人北海 道大学	6430005004014	健康・医療分野における ムーンショット型研究開発 等事業の実施	502.1	随意契約 (公募)	-	--	
4	国立大学法人筑波 大学	5050005005266	健康・医療分野における ムーンショット型研究開発 等事業の実施	250.9	随意契約 (公募)	-	--	